



ボランティアニュース

Vol. 186 2019年4月号

発行 神奈川県立こども医療センター オレンジクラブ事務局

編集責任者 ボランティアコーディネーター 加藤 悦興

〒232-8555 横浜市南区六ツ川 2-138-4 Tel. 045-711-2351 (代表)

ホームページ <http://kcmc.jp/volunteer/>

e-mail kcmcvolunteer@kanagawa-pho.jp

新年度を迎えて

神奈川県立こども医療センター

総長 町田治郎

2019年4月1日より総長となりました町田治郎です。よろしくお願いいたします。

『もしもこども医療センターにオレンジクラブがなかったら』という物語を妄想致しました。

近くの小児科医院から紹介されて、神奈川県立こども医療センターに初めて受診したチコちゃん5歳が主人公です。お母さんとこども医療センターの正面入り口を入ってきましたが、どこに行っているのか、全くわかりません。チコちゃんは『まったく空港と病院ほどわかりにくいところはないわよね。』と思いました。『こんな時に笑顔であいさつしてくれて、「あちらが初診外来の受付です。」とか言ってくれる人がいたら、どんなに助かるかしら。』受付が終わって外科外来に行きました。受診までまだ時間があるので、売店に行きました。廊下の壁は殺風景で、白い壁があるだけ。チコちゃんは悲しくなってきました。外来ではお医者さんも看護師さんもやさしかったですが、1週間後に手術で入院することになってしまいました。『こんな病院に入院するのはいやだなあ。』と思いました。『外来が終わった後に「病院に来てくれたご褒美に折り紙で作った時計はどう?』と

か言ってくれる人がいたら、どんなにうれしかしら。』とチコちゃんは思いました。

入院して手術も無事終わりましたが、まだ退院できません。チコちゃんは退屈になってきました。『好きな本を選んで読めたり、お話し会があったり、ピエロさんが来たりしてくれないかなあ。』でも、看護師さんや保育士さんたちはとても忙しそうです。お母さんも仕事なので夜まで面会に來られません。チコちゃんは点滴を失敗した外科の研修医に八つ当たりしました。

「ぼーっと生きてんじやねえよ!」

・・・やはりオレンジクラブはこども医療センターにはなくてはならないものようです。今後もオレンジクラブの益々のご活躍を期待しています。



こども医療センターに通うこどもたち

母子保健推進室 室長 古塩 節子

こども医療センターは診療科が29科あり、小児病棟が10病棟、新生児病棟と母性病棟と全部で12病棟あります。ベッド数は、病院と肢体不自由児施設、重症心身障害児施設を合せて419床で、外来は1日平均で約700人が通院しています。

入院・通院しているこどもたちは、慢性的な病気がある、医療的ケアがある、薬を飲み続けないといけない、注射をし続けられないといけない、手術が必要、治療するのに配慮が必要など様々な病気で治療をしています。

医療的ケアがあるこどもたちは「医療的ケア児」と呼ばれ、厚生労働省は5年ほど前から「医療的ケア児」の支援を施策として打ち出しています。医療的ケアには、人工呼吸器、気管切開、喀痰吸引、酸素吸入、経管栄養、導尿、人工肛門、中心静脈栄養、透析などがあります。

10年くらい前までは、人工呼吸器を装着して自宅で生活しているこどもたちはまだ少なかったですが、今では、当センターから人工呼吸器を装着して自宅に退院するこどもたちは、1年間に10人以上います。退院に向けては、主治医を初めとした医師や病棟、退院・在宅医療支援室、医療福祉相談室等の多くのスタッフが、在宅での生活のための準備や調整をしています。



車いすで移動しているこどもたちをセンター内でよく見かけると思っています。大人の車いすとはちよつと違う車いすがありますが、あの車いすはその子に合せた特注製作の車いすなのです。頭や手・足の位置、体の大きさ、背中との角度など、その子が安楽で安全なように作られています。また、人工呼吸器を装着しているこどもたちは、車いすの下部に人工呼吸器の機器を積んで移動しています。移動する車も、車いすがそのまま乗り込めるよう電動リフトやスロープが付いている福祉車両になっています。

薬や注射が必要なこどもたちを考えてみましょう。1型糖尿病という病気は、インスリンが作られないために毎日数回インスリンを注射しなければなりません。血友病も成長ホルモンが必要な病気も注射が欠かせません。腎臓病や心臓病、膠原病等々、お薬を飲まなければならぬ病気もたくさんあります。国は、小児慢性特定疾病として、14疾患群722疾患を指定しています。

手術や治療するのに配慮が必要なこどもたちは、整形外科や消化器系の手術、口唇口蓋裂などの形成外科の手術、全身麻酔をしての歯科治療、アレルギー疾患、眼科疾患、皮膚疾患などなどの病気があります。

また、最近の医療の進歩で、妊娠中の胎児の状態（心臓病や胃・肺等）が超音波検査（エコー）でわかるようになりました。生まれてからわかることもたくさんありますが、生まれる前から生まれた後の治療を考えての準備ができるようになりました。

大人とこどもの違いにはどんなことがあるでしょうか。こどもは、体も心も成長・発達していきます。幼稚園や保育園、小学校、中学校、高校と成長と共に発達課題を乗り越えていきます。そして、一人の大人として成長していくための支援をしていかなければならないのです。

慢性疾患児の家族は、精神的・身体的・経済的な負担が大きいです。特に、医療的ケア児の家族は負担が大きいです。24時間365日のケアや、なかなか簡単には出かけるのは困難ですが、病気や障害があってもいろいろなることを経験させたいと思っています。大変な中でも、こどもとの生活を楽しみ、家族自身も様々な支援を受けながら、皆さん頑張っています。応援をお願いいたします。

病気のこどもたちと家族は、自宅で生活して

います。地域の中では孤立しがちです。災害時等に支援者になってももらえると思われず。また、自宅の近くで見かけたら、暖かく見守ってほしいと思います。皆さんのそばで、生活しています。

今年度、防災パンフレット「備えていますか？」災害が起きたらどうする？」を作成しました。こどもたちと家族に活用してもらいたいと思っています。ご希望の方は、本館1階保健福祉相談窓口⑦にいらしてください。



*この内容は、第45回ボランティア研修会での講演内容です。初めてセンターでボランティア活動を始める方にも、すでに活動が続けている方もとても関心深い内容でした。最近作られた防災パンフレットを手に取り、「すぐれものですね。」とボランティアの皆さんが話されておりました。(コーディネーター加藤)

ぼぼんた通信

きくちゃん

3月12日の運営会議は、防災の議案が大部分でした。病院は患者さんが安全に避難して頂く事が第一です。避難訓練は院内全員（ボランティアも含む）の人が真剣に、それぞれの持ち場で自分の避難経路を確認しておかないと、逃げ遅れてしまいます。

ぼぼんたは5年ほど前から月1回の避難訓練をしています。ぼぼんたは院内中に散らばって活動するので、どこで被災するか分かりません。そこで重いブックトラックが一人で走りださないように、8台のブックトラックのストッパーを付けてもらいました。このブックトラックをそれぞれの病棟に相談して置き場を決めてもらいました。こうしてぼぼんたのメンバーは身軽になって階段を使って避難できます。避難訓練は、避難経路図を参考に行っていきます。

現在工事している病棟は経路がかわるのでしようか。

3月の活動から

*総合待合室でのメリーゴーラウンドは、車いすでも乗れるスペースが確保されていました。



*プロフットサル選手との交流会

現役フットサル選手が10名、ボランティアさんも20名ほどで、こどもやご家族が46名参加され楽しみました。



本館5階の「きょうだいお預かり」を行っている家族待合コーナーのマットが、オレンジクラブへの「医師の会」からのご寄付や、バザーでの売上金によって、新しくなりました。きれいになって、少し広く感じられます。



2019年4月				
月	火	水	木	金
1	2	3	4	5
おもちゃ/am、4西・4東 pm つるし雛	アートワークショップ /4東	Sホスピタ/5西		
8	9	10	11	12
	Hクラウン/4南・5南 am、4西・総合待合pm おもちゃ/外来プレイコ ーナー ・園芸	縫製 手作り 外来スタッフミー ティング	ミルクティー/ここ ろ・重心	Sホスピタル/4南
15	16	17	18	19
ドレミ/重心・総合待合	フラダンス/重心・総合 待合・こころ	盲導犬/こころ 14:00～、肢体 15:00～ Sホスピタ/5西 縫製・手芸	ステッカーアート/ 4東・4西・5西	おもちゃ/クリーン am、5南pm 「スマイルフル」 総合待合11:30～
22	23	24	25	26
20日(土)Sホスピタル/ 重心	Hクラウ/クリーン・ ハイケア2am、4南・ 総合待合pm 園芸		ミルクティー/ここ ろ・重心・総合待合 作業	Sホスピタル/ハイ ケア2
29	30			

28日(日)
音の絵本
重心 10:30～

毎週月曜 フラワーアレンジメント

- ・毎週火曜日 高野さんとピアノで歌おう 10:00～10:45
- ・毎週月・水・金曜日 きょうだい預かり 10:30～16:00
- ・毎週火・金曜日 重心作業・月～金曜日 患者図書/外来
- ・毎週水曜日 ぽぽんたAM/PM

その他の活動・チャイルドウィッシュきょうだい預かり毎日曜日13:30～15:30

・ピアサポート 火～金曜日10:00～15:00

(3月30日に飾り付けました。総合待合と本館から管理棟への通路に飾っています。)

